

市民連合



池上 文夫



こどもの居場所は

**問** 支所などにおける児童室などのスペースについて、未就学児や小学生を対象とした、こどもの遊び場、居場所として開放することについての考えは。

**答** 身近なところに、こどもの

県立高校の再編案は

**問** 県が2033年度までに県立高校22校を統合して7校に再編する方針素案が、先の県議会でも明らかにされた。

**答** 県教育委員会が示した市内の県立高校5校の統合再編については、県に対して慎重な対応を求めるべきと考えるが。

**答** 県教育委員会が公表した今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画の素案では、市内の高等学校について、異なる課程の再

居場所を確保することは、利便性や安全面からも重要だと考える。

現在、交流館の交流スペースや図書室、支所の市民サロンでは、こどもたちが宿題や読書をしている。

また、交流館にキッズスペースを試行的に設置するなど、こどもの居場所が広がりつつある。今後は、設置場所や使い方などのニーズを把握しながら、

拠点支所の児童室などの活用も含めこどもの居場所のさらなる拡充をめ



編、統合や学科の改編を行う計画が示されており、地域やこどもたち

ちに大きな影響を及ぼすものであると受け止めている。

教育委員会としては、こどもたちが希望する内容を、充実した環境の中で学べるのが何より大切であると考えており、これまで各校で行われてきた教育が、より充実したものとなるよう格別の配慮を行うこと、地域住民、在校生や中学生、保護者が不安を抱えることのないよう、丁寧な説明を行うことについて、改めて県教育委員会に対し2月16日に要望を行った。

新政クラブ



宮地 毅



空き家の有効活用による若者の定住促進は

**問** 再利用可能な空き家4367件という数字は、大きな可

出席扱いガイドラインの明文化は

**問** 校長の裁量に委ねられている部分が大きく、学校によって対応が異なる可能性がある。

ユースセンターと既存の居場所との連携は

**問** 連携体制は。

**答** 民間の若者支援団体と連携

(仮称)子ども未来館は

**問** 単なる体験施設にとどまらず、多様なこどもたちが安心して過ごせる居場所機能を持つ

轄地区東西交通・交流拠点施設は

**問** ※みなとオアシスへの登録は。

**答** 施設の供用開始に併せて、追加登録を行う。

能性を秘めた地域の宝である。取り組みの検討状況は。

**答** 空き家のリノベーションの補助対象に、若者夫婦世帯を追加することとしている。

**答** ガイドラインを明文化、公開し、透明で公平な運用を実現すべきと考えるが。

**答** 公開については、他都市の状況なども踏まえ、検討する。

し、相談できる体制を整える。また、不登校傾向にある高校生などを対象に、居場所づくりの検討も進めており、既存のフリースクールがやきなども連携し、切れ目のない支援につなげる。

ことができれば、新たな学びと成長の場となり得ると考えるが。

**答** 自宅でも学校でもない居心地の良い場所としての機能を果たしていく。

※みなとオアシス：「みなと」を核としたまちづくりを推進するため、地域住民の交流や観光振興による地域活性化を行う地区として国に登録する制度